

◎ 平成23年度 項目別実施結果

1 資料の収集・保存と活用 (「未来に伝える博物館」)

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
1-1	継続的な資料の収集	資料の収集と保存に関する事業方針に基づき、採集・購入・寄贈等による継続的な収集を進め、バランスのとれた特色あるコレクションづくりを行います。	対前年度増加点数	(当該年度の登録資料点数) - (前年度の登録資料点数)	6000点/年	8099点	参考値として、前年度の増加資料点数を示す。 H22年度 8,972点
1-2	寄贈、移管等による資料の受入の促進	県内の自然科学的特徴の証拠となる資料を中心として、それらの貴重な資料の安全な保管、ならびにその展示公開と研究促進を図るため、寄贈や移管等による資料の受入を促進します。	委託製作等による資料取得件数	委託製作や購入等によって、当該年度に取得した資料の件数		8件	参考値として、取得した合計点数も示す。 取得点数61点
			新規寄贈件数	当該年度に寄贈手続きされた資料の件数		16件	参考値として、取得した合計点数も示す。 寄贈点数4,418点
			新規移管件数	当該年度に移管手続きされた資料の件数		5件	参考値として、取得した合計点数も示す。 移管点数497点
1-3	収集資料の整理とデータベースへの登録促進	受け入れた収集資料の迅速な整理・登録を進めるとともに、収集資料データベースの充実化を促進します。	収蔵資料のデータ登録状況			8099点	正規登録された標本のみの点数
			収蔵資料の画像登録状況	(画像登録点数/収蔵資料点数) × 100	前年比2%増	155点	平成23年度末画像登録点数
			収蔵資料データベースのバックアップ状況	当該年度における、収蔵資料データベースのバックアップ実施状況とその将来構想	館外でのバックアップ	DATに保存したデータを館内で保管	平成24年度より年報に記載
1-4	文献資料の充実	二次資料の一部として、博物館業務に不可欠な文献資料について、継続的に収集と保存を行い、それらを元に一次資料の効果的な活用を行います。	新規購入図書冊数 (学術雑誌含む)	当該年度における購入図書数		732冊	平成23年度より年報記載。
			交換受入図書数	当該年度における交換による受入図書数		データ無し	参考値として、交換館数を示す。 年報未記載。 少なくとも国内420機関、海外24機関(あとは未整理のため不明)
			寄贈受入図書数	当該年度における寄贈による受入図書数		699冊	平成23年度より年報記載。
1-5	資料の安全な保管	第1～第3の各収蔵庫や展示室の点検や資料燻蒸等により、収蔵資料の安全な保管を図ります。	収蔵庫の温・湿度管理の状況	温・湿度それぞれの基準値とその動向(温度:全収蔵庫18～20℃;湿度:第一・第三収蔵庫50～55%,第二収蔵庫47%)		目標値は18℃、50%	第一・第三 収蔵庫
			管理簿を用いた各収蔵庫利用状況の管理			目標値は18℃、47%	第二収蔵庫 年報未記載。
			資料燻蒸の実施	当該年度における、収蔵庫燻蒸ならびに燻蒸庫燻蒸の実施状況	収蔵庫燻蒸(1回/年)	6/21-25に実施	使用薬剤: ヴァイケーン
					燻蒸庫燻蒸(2回以上/年)	12/14-19、2/21-24の2回	使用薬剤: エキヒュームS
			管理に注意を要する収蔵資料の保管	当該年度における、注意を要する収蔵資料の保管状況の点検	点検2回/年	未点検	平成24年度より実施 点検月 8月 2月
			基準標本の保管	当該年度における、基準標本の保管状況	点検1回/年	未実施	参考として、基準標本の点数とその保管状況も示す。 点検月 2月 平成23年度より年報記載。
	天然記念物の保管	当該年度における、天然記念物の保管状況	点検1回/年	未実施	参考として、天然記念物の点数とその保管状況も示す。 平成23年度より年報記載。		
	展示室における保管	館職員による点検状況	1回/月	常設展示のコーナー毎に学芸係担当者が月1回実施	点検結果については、館内供覧を実施し、常設展担当者が取り纏めている。 平成23年度より年報記載。		

1-6	常設展示室の資料保存環境の改善	常設展示室での安全な資料の保存環境を確保します。	文化財害虫への対策	常設展示資料への燻蒸実施状況、貴重資料の燻蒸ならびに館内における文化財害虫等の忌避対策の実施状況	貴重資料の燻蒸 (1回/年)	イヌワシ等は取蔵庫燻蒸時に移動して燻蒸。運搬できないクマ類を展示室で燻蒸	使用薬剤：ヴァイケーン
					忌避対策 (2回/年)	誘因粘着式トラップを設置	平成23年度より年報記載。
			温・湿度の管理	展示室内の温・湿度の管理実施状況	1F展示室、2F展示室、企画展示室、エントランスホール	1F展示室20℃・50%、2F展示室21℃・50%、企画展示室22℃・50%、エントランスホール20℃、50%	平成23年度より年報記載。
1-7	収蔵スペースの確保	将来の収蔵資料の増加に備え、収蔵スペースの確保に向けた方策を探ります。	館外保管施設	当該年度における、館外保管施設の使用状況	当該年度の継続状況	前年度から継続して富岡土木事務所倉庫2の2階を使用	年報未記載。
			収蔵設備の拡張	館内外を含め、標本収蔵設備の確保についての検討状況	本項目と関係する予算項目の設置	内部のみで検討	年報未記載。
1-8	展示における公開促進	館内の常設展示や企画展での展示、ならびに他館展示への貸出などに用いることにより、収蔵資料の活用を図ります。	常設展示室展示資料更新件数	当該年度に常設展示の更新を実施した件数	5件/年	13件	年度末のパネル等新規作成は1件としてカウント。
			企画展展示資料点数	当該年度の企画展に展示された収蔵資料数	200点/年	1,388点	平成23年度より年報記載。
			展示のための貸出件数	当該年度に、展示を目的として貸し出された資料の件数		30件	参考値として、貸し出した資料の合計点数も示す。合計点数は244点
			移動博物館等での利用点数	当該年度に移動博物館や共催事業で使用した資料の点数	250点/年	284点	実施回数は3-5を参照
1-9	レファレンスのための資料公開の促進	外部研究者やマスメディア等からの要望に基づいて、特別観覧等により収蔵資料の適切な活用を図ります。	研究目的の特別観覧件数	当該年度に許可した、研究目的の特別観覧件数		14件	参考値として海外からの特別観覧件数を示す。うち海外からは1件
			研究目的の特別観覧に基づく成果の公表状況	当該年度に公表された、特別観覧に基づく研究成果の件数		データ無し(H24よりデータ収集)	年報未記載。論文公表、学会発表、新聞発表等も含む。
			その他の特別観覧件数	当該年度に許可した非研究目的(マスメディア等)の特別観覧件数		特別観覧5件・収蔵庫見学2件	大学等の博物館実習等による収蔵庫見学数も含む。本年度は収蔵庫見学のみ。

2 調査研究 (「魅力を引き出す博物館」)

群馬の自然とそのなりたちを明らかにする学術的な研究を、収集した資料や現地調査などをもとに、県内外の関連機関や専門家と連携しながらすすめ、新たな事実や価値などの知見の発見に努めます。また、その成果を展示や広報活動等を用いて広く県民に還元するとともに、群馬の魅力を引き出します。

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
2-1 調査研究活動の推進	自然史調査研究および分野別調査研究等を積極的に行い、群馬県における自然史調査研究、博物館学の専門機関として中核を担う活動を推進します。	自然史調査研究の実施状況	定点地域における動植物、古生物、岩石・鉱物等の組織的な調査		調査回数：25回	
		分野別調査研究の実施状況	職員の担当業務に関する調査		13分野 18調査	
		一般県民等との協働調査の実施状況	一般県民等との連携件数	3件/年	4件	
2-2 調査研究成果の公表	館出版物による研究成果の公表および、学会発表、学術論文等により調査研究成果を公表するとともに、展示や教育普及活動を通して成果の活用を図ります。	図書・雑誌等の一般著述	本、雑誌、新聞等での一般向け解説	10本/年	10本	
		学会等での発表	各種学会、研究会での口頭、ポスター発表等の総数	5回/年	27回	
		学術論文、報告数	論文、報告の総数	10本/年	22本	共著も含む
		展示活動	展示の件数	2件/年	3件	展示による成果公表
		教育普及活動	講演会・講座などの件数	10件/年	14件	博物館内外で学芸係職員が講師を務めたもの
2-3 外部研究機関等との連携の推進	他の博物館、研究機関、試験研究機関、大学、研究団体、学会等と連携した調査研究等を推進します。	連携調査研究数	博物館、研究機関、試験研究機関等との連携推進		26研究	人的・予算規模の大小は問わない。科研費の研究分担、協力も含む
2-4 外部資金の獲得による調査研究事業の推進	(独)日本学術振興会の補助金、民間・行政等の研究助成金等の外部資金を獲得し、調査研究活動を推進します。	(独)日本学術振興会申請・採択数	文部科学省・独立行政法人日本学術振興会の科学研究費補助金、奨励研究費	申請3・採択1件/年	申請2・採択0(継続2)	
		その他調査研究助成金獲得状況			5件	

3 展示 (「知を広め、高める博物館」)

県民が群馬の自然とそのなりたちに関する理解を深め、楽しみながら自然の本質を学べる施設とするため、以下の5点に配慮した展示を行います。

- ①資料はできる限り実物を展示します。
- ②資料を身近に展示し、実物を実感してもらいます。
- ③資料に直接手で触れたり、随所に映像や体験コーナーを設けたり、参加・体験型の展示を心がけます。
- ④県民ニーズに合わせた魅力ある企画展・特別展を心がけます。
- ⑤調査研究の成果や収集した資料の公開など新知見の情報発信を行う企画展や特別展を心がけます。

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
3-1	常設展の改善・充実	新規資料の追加・更新, 研究成果の反映, 展示方法の改善などにより, 来館者の満足度の向上を図ります。	観覧者数	年間の観覧者数	16万人	177,698人	
			リピーター率	アンケート回答者に占めるリピーターの割合	60%	63%	回答数367
			来館者の満足度	アンケート回答者による満足度の評価	80%	89%	回答数367
			追加・更新資料数	常設展における資料の追加・更新資料数	10点	32点	機器・パネルを含む
3-2	常設展の保守・点検の充実	常に理想的な状態で来館者の方に展示を見ていただけるように心がけます	迅速な障害対応			217回	件数は、展示室故障カードで対応した数(業者対応は除く)
			展示室内の点検	解説員・案内員による展示室内のチェック	随時	随時	
				展示担当者による展示室内のチェック	各担当ごとに1回/週	H24より実施	
			展示資料周辺の清掃	定期的な清掃	各担当ごとに1回/月	1回/月実施	
3-3	魅力ある企画展・特別展の開催	来館者のニーズに応え, 最新の研究成果を反映し, また, 多様なテーマでの魅力ある企画展・特別展を実施します。	企画展観覧者数	過去の企画展での一日平均観覧者数との比較	100%	114%	過去5年間の企画展観覧者数の平均との比較(春の企画展は翌年度実績とする)
			企画展満足度	企画展アンケート回答者による満足度の評価	80%	79%	回答数 898
			企画展等実施回数	企画展示室での企画展・特別展等の実施回数	4回/年	4回	
3-4	多様な展示の開催促進	常設展・企画展以外にも, 適宜魅力ある情報の提供を心がけます	展示開催回数		6回/年	8回	ミニ展示・解説員によるCコーナー展示等も含む
3-5	館外での展示の充実	館内にとどまらず, 館外での展示の促進・充実を図ります。	実施回数	移動博物館など, 館外での展示回数	5回/年	7回	移動博物館 他館連携出前教室
			観覧者の満足度	アンケート回答者による満足度の評価	80%	87%	参考値として観覧者数を示す
3-6	解説業務の充実	解説業務の充実を図り, 観覧者の満足度の向上を図ります	展示解説の実施状況	定時解説の実施状況	2,000人/年	2,478人	
				随時解説の実施状況	25,000人/年	44,028人	
				スポット解説の実施状況	100回/年	204回	学校向け47回
			観覧者満足度	アンケートにおける解説業務の満足度	80%	80%	
			解説・接遇研修の実施	研修の実施回数	15回	15回	新人解説員研修を除く
解説業務の質的向上	解説業務自己研修	随時	随時				
	職員によるクオリティチェック	随時	随時				
3-7	常設展のリニューアルに向けての取り組みの推進	開館20周年を目標として, 常設展示のリニューアルを行うため, リニューアルに向けた計画・検討作業を促進します	リニューアルに向けた他館調査			基本計画作成 他館視察1館	

4 教育普及 (「知を広め、知を高める博物館」)

群馬の自然とそのなりたちについて、調べたり、体験したり、楽しんだりしながら学ぶことができる多様な学習機会を提供することにより、学校教育から生涯学習まで広く深く支援します。

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
4-1	学びの魅力を感じられる事業の推進	県民のニーズを把握するとともに、多様な普及事業を企画し、多様な学習の機会を提供します。	普及事業実施件数	サイエンスサタデー以外の普及事業件数	30件/年	56件	ファミリー自然観察会、天体観望会、講演会、自然教室、探検隊、ナイトツアー、バックヤードツアー、チャレンジ講座*
				サイエンスサタデー件数	45件/年	50件	
				ビデオ上映会件数	175件/年	183件	
			普及事業参加者数	サイエンスサタデー以外の普及事業参加者数	700名/年	1677件	*と同じ
				サイエンスサタデー参加者数	1600名/年	1988名	
				ビデオ上映会参加者数	3500名/年	5074名	
			参加者の満足度	事後アンケート(抽出)による満足回答者の割合	80%	98%	*の各事業のアンケート結果より(抽出) *年報参照
事後アンケート(抽出)による県民のニーズの把握		H24よりアンケートで把握・年報掲載					
新規・見直し事業件数		20件/年	22件	*とサイエンスサタデーの全普及事業対象			
4-2	学校教育支援の推進	学校・教科主任会などへの講師派遣・館内での講師対応、資料貸出、館内授業や教職員研修、遠足、職場体験等を受け入れ、幼小中高の学校教育を支援します。	学校教育支援事業件数	学校・教科主任会などへの講師派遣・館内での講師対応件数	40件/年	49件	「6-2 他機関が主催する講演会・研修会等への講師派遣」を除く
				館内授業件数	70件/年	68件	
				ビデオ上映件数	40件/年	47件	
				資料貸出件数	55件/年	96件	
				職場体験学校件数	10件/年	13件	
			教員・生徒の満足度	館内授業、資料貸出実施後のアンケートによる満足度	80%	H24より掲載・年報報告	
4-3	ボランティア活動の充実と活性化	ボランティアの指導・育成に努め、自主的な活動を促し、県民のボランティア活動の充実、活性化を図ります。	活性化に向けた打合せや活動件数	全体会、運営委員会、広報活動等の回数	3回/年	5回	
			ボランティア研修回数		5回/年	11回	新規ボランティア研修を除く
			ボランティア登録者数	ボランティアの総数	80名/年	87名	
			ボランティア活動人数(延べ)	館内におけるボランティア活動人数(延べ)	600名/年	664名	
				館外におけるボランティア活動人数(延べ)	20名/年	29名	館外での教育普及活動と調査活動
4-4	友の会活動の充実と活性化	友の会の指導・育成に努め、自主的な活動を支援し、友の会の活動の充実、活性化を図ります。	友の会会員数	友の会の会員総数	250名/年	273名	会員数(前年度比+4%)
			会員の継続率	当該年度会員に占める前年度会員の割合	60%	63%	
			常設展・企画展観覧者率	観覧者として入館した会員の割合	50%	74%	
			友の会行事への講師支援			1回	

5 情報の発信と公開 「知を広め、高める博物館」

博物館刊行物やインターネットなどのメディアを活用して、資料収集や調査・研究の成果、新たな展示の紹介、さまざまな教育普及活動の案内などを積極的に情報発信し、県民が自然やそのなりたちに関する「知」と触れ合う機会を増やします。

活動目標項目		内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
5-1	各種刊行物の充実	研究報告や博物館だよりなどを用いて、積極的に情報発信を行います。	調査研究にかかわる館の刊行物の発行件数	研究報告・調査報告などの発行件数	1件/年	1件	研究報告発送先（国内218、国外66）
			普及にかかわる館の刊行物の発行件数	図録や研究報告、ポスター、リーフレットなどの発行件数	13件/年	13件	
5-2	広報活動の充実	館刊行物の配布ルートの新規開拓や、新規来館団体増加のために、教育委員会や旅行会社等に出向きPR活動を行います。	教育委員会や旅行会社等への訪問件数	教育委員会や旅行会社等へ訪問した件数	30件/年	82件	新規訪問件数62件
5-3	インターネットによる情報発信の推進	ホームページやメールマガジンの配信によって、最新のイベント情報提供等の充実を図ります。	HPアクセス数	当該年度のアクセス（Total Visits）件数	300,000件/年	289,025	
			HPへの情報掲載件数	当該年度の新規作成や更新した件数	60件/年	166件	
			メールマガジンの配信件数	当該年度末時点のメールマガジン配信回数	12回/年	5回	登録人数120人（H23現在） ※現在メールマガジン配信対象者は教職員のみ
5-4	メディアへの情報資料提供等の推進	企画展や普及行事の案内だけでなく、博物館に関する情報をメディアに積極的に資料提供するように努めます。	メディアへの情報資料掲載件数	県広報等から発信した情報資料の掲載件数	200件/年	データ無し （H24よりデータ収集）	情報資料提供件数
				上記以外から発信した情報資料の掲載件数	—	データ無し （H24よりデータ収集）	情報資料提供件数
			メディアの取材対応件数	メディアの取材対応件数	—	データ無し （H24よりデータ収集）	

6 シンクタンクとしての社会貢献（「知を広め、高める博物館」）

博物館の有する様々な資源（資料、情報及び職員の専門性）を活用し、自治体や各種団体への専門知識の提供や講師派遣の実施など、シンクタンクとしての機能を充実させます。

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
6-1	レファレンス利用者の拡大	レファレンス件数	レファレンス記録DBにおける記録件数	200件/年	データ無し (H24よりデータ収集)	平成24年度より集約
6-2	自治体および各種機関・団体への専門知識の提供	委員等受諾件数	学会・博物館関連団体の委員等を除く	5件/年	13件	
		機関・団体等への情報提供件数	自治体やその他の機関・団体からの問い合わせによる回答数	—	データ無し (H24よりデータ収集)	平成24年度より集約
6-3	講師派遣等の推進	講師派遣等件数	幼小中高への出前授業を除いた講師派遣等の件数	15件/年	25件	「4-2 学校・主任会などへの講師派遣件数」を参照。論文査読を含む。参考値として、受講者人数も示す。
6-4	大学教育への寄与	博物館実習等の受入人数		10人/年	14人	
		学生・院生指導件数	対面による指導件数	—	データ無し (H24よりデータ収集)	平成24年度より集約
		大学生への講義・実習回数	博物館または大学等での実施回数	10回/年	5回	
6-5	学会・研究会への寄与	学会等の開催数	学会・研究会の大会・例会・シンポジウム等の開催数	1件/年	3件	
		学会等の役員等の受諾数	学会・研究会における役員・委員等の受諾数	5件/年	8件	事務局数 0
		学会等加入数	当館が加入している学会・研究会・協議会等の件数	3件/年	10件	学会誌等購読数 37
6-6	博物館施設等との連携強化	博物館施設等への資料の貸出件数		10件/年	22件	研究目的件数 0
		博物館施設等への助言件数	企画展示調査対応、調査研究対応、各種問い合わせ対応の総件数	10件/年	データ無し (H24よりデータ収集)	
		連携事業等の実施数	共催、後援、協力を行った事業総件数	1件/年	3件	
		博物館施設等の委員等の受諾件数			5件	

7 マネージメント(経営)

施設や運営における危機管理を充実させるとともに、職員の意識改革と資質の向上及び適切な博物館評価システムの構築に取り組み、博物館活動の活性化と利用者の増大を図ります。

活動目標項目	内容	評価指標	指標定義・説明	目標値	23年度実績	備考
7-1 安全で利用しやすい博物館施設への改善	わかりやすい案内表示とユニバーサルデザインに配慮した、誰もが快適で安全な利用しやすい施設となるよう、日常的な点検・改善を行う。	施設のユニバーサルデザイン化			ベビーチェアの設置	段差解消、手すり、授乳スペース、おむつ替えベッド等の現状把握と改善
		案内表示等のユニバーサルデザイン化			現状把握	外国語併記、点字表記などによる案内表示及びサインの現状把握と改善
7-2 観覧者サービスの点検と質的向上	案内業務に係るスタッフの対応状況を点検し、改善を図りながら、観覧者サービスの質的向上に努める。	解説員、案内員の来館者対応の点検	職員による点検	随時	随時	
		接遇研修の実施		1回/年	1回/年	
7-3 博物館認知度の向上と利用者層の拡大	広報活動の強化により、博物館の認知度を高め、博物館来館者のエリアの拡大を図る。	認知度向上のための企画立案			H24より実施	企画会議(合同会議・普及会議)による検討
		利用者層拡大のための企画立案			H24より実施	企画会議(合同会議・普及会議)による検討
7-4 職員の意識改革と資質の向上	職員が博物館の使命、役割を認識し、博物館活動の活性化と健全な経営に主体的に取り組めるよう、意識改革と資質の向上を図る。	学会・研修会等への参加			学会発表延べ29件	発表は共同発表を含む
		他館視察等の実施			2件3名	
7-5 博物館支援組織のあり方の検討	「友の会」会員やボランティア等による様々な博物館活動への県民参画の仕組みづくりの検討を行う。	県民参画の仕組みづくりについて検討			H24より実施	合同会議・普及会議による検討
7-6 博物館活動への理解及び外部協力の獲得	当館が果たしている幅広い役割と活動状況について、広く理解を得る。	博物館予算の確保	博物館予算前年比率	100%	99.7%	当初予算比較
		企業等からの協力・支援	企業等からの協力件数	2件/年	6件	
7-7 防災意識の向上と危機管理体制の強化	地震や火災などの発生に備え、文化ホールと連携して防災訓練を実施するとともに、その他様々なシーンの危機管理について万全に備える。	防災訓練の実施	防災訓練実施回数	2回/年	H24より実施	
		危機管理対策	各種マニュアルの改善と各職員への浸透		地震対応マニュアルの作成と伝達	
7-8 博物館評価システムの構築	博物館活動の活動目標に基づく、自己点検評価、結果の公開という適切な博物館評価システムを確立し、博物館の業務改善に役立てる。	活動目標の設定			活動目標の評価指標表作成	
		自己点検評価	自己点検評価の実施	2回/年	H24より実施	
		委員会等による外部評価	外部評価の実施	1回/年	H24より実施	
		博物館の業務改善			平成23年度評価を基に実施	
		博物館評価の公開			H24より実施	